

六月二十六日 公報

解雇年者甚く他後状況ニ因らば全社ハ休業中ニ(三日) 了) 支拂大々共控せんが致工例に於てハ之加給額ヲ阻止スヘク 前夜未妻多ノ等ニテ各被解雇者ノ移宅ヲ防向セムト爲 運動ニヨリシテ其ノ半割ヲ受クニシテ多クアル見出下 職工例ノ態有リ具ルニ指名解雇者中ニ仲組工組各幹 部員ヲ網羅セル故全社ノ爲運公平ナルト懐疑シ幹部 員の世に三十五日之夜多儀因事致計ニ自多心 却志異傲ノ 意味ノ爲多儀事ヲ作製セシ謂ハテホカッリ

(六月二十一日 公報)

大正十一年六月廿七日

大阪 社

佐友伸銅工組 派 情 報

二十六日交渉委員ハ要事ヲ携ヘ奉工場ヲ訪問カ山副 支那人ニ面會アリ先モ混雜中ナリトテ拒絶セシメ

要事書 (我工全案ニテ決議スル)

一 団体交渉權ヲ認ムル

即チ日存協働局同盟仲組工組各々交渉団体トシテ

認ムル

一 協働加給額ノ公平ナル事ヲ存論ニ直ス

一 解雇者ハ自交給額ノ外日給ノ三割日分ヲ支給ス

6.26.

要求

11.6.30
1.2.26

